

平成19年1月11日

各 位

上場会社名	プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 (コード番号：7707)
本店所在地	千葉県松戸市上本郷 88 番地
問い合わせ先	取締役業務本部長 秋本 淳
T E L	047-303-4800
U R L	<a href="http://www.pss.co.jp/">http://www.pss.co.jp/</a>

## 収容反応測定装置および収容反応測定法に関する米国特許取得のお知らせ

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社（以下 PSS）の 100%出資子会社である PSS バイオ・インスツルメンツ・インク（以下 PBI、本社：米国カリフォルニア州）は、2007 年 1 月 2 日、米国特許庁より『収容反応測定装置および収容反応測定法』に関する特許（特許番号：US 7157047）を、取得いたしました。本技術はサンプルや試薬等の微量液体に使用される分注機と分注チップ（使い捨てのプラスチックパーツ）の利用を基礎技術としたもので、分注チップそのものの中に、生体系物質担体を固定化し、サンプルと収容反応させることにより、光学的にサンプル中の目的物質の定性や定量測定を、マルチプレックス（2 つ以上の目的物質測定を同時に行うこと）処理にて行うものです。

本技術は分注チップを利用するため、反応工程制御が非常に柔軟かつ正確に行えることが特長で、DNA・RNA 解析はもとより、たんぱく質解析、免疫測定、バクテリア・ウイルス検出等に広く応用できるものと考えております。また、米国だけでなく世界主要国へも特許出願を行っており、引き続き各国の特許取得が実現されれば、Magtration（マグトレーション）と同様国際特許技術として、PSS のコア技術に育ち得るものと期待しております。

PSS ではこれまで、独自開発技術である Magtration Technology による DNA・RNA の抽出精製をコア技術として各種製品化を行ってきましたが、今回の米国特許取得技術は Magtration と連結して抽出から測定までの全自動化を可能にし、PSS が一貫して取り組んできた、遺伝子臨床検査システムの製品化に大きく道を開くものです。すでに、この連結技術思想に基づき、国内外の研究機関との共同開発により、SNPs 解析、ウイルスの変異株検出に関しての試作に成功しております。

- 特許の概要 -

1、特許番号：US 7157047

2、特許日：2007年1月2日

3、特許名：収容反応測定装置および収容反応測定法

(英語タイトル：Device for containing, reacting and measuring, and method of containing, reacting and measuring)

4、PBI (PSS バイオ・インスツルメンツ・インク) が特許取得にいたる経緯

本特許技術は当初 PSS より出願されたものであるが、米国での事業化を目的に、PSS が 100% 出資する米国子会社、バイオ・ストランド社を設立し、特許が譲渡された。その後、同じく PSS の 100% 子会社である PBI がバイオ・ストランド社を吸収合併し今日に到っている。なお、PSS は本特許を無条件に使用できる契約を PBI と交わしている。

以 上